第56回下水道研究発表会　口頭発表部門審査結果

令和元年8月6日から8日の3日間、横浜市パシフィコ横浜で開催いたしました「第56回下水道研究発表会」口頭発表部門において、発表担当座長並びに下水道研究発表会企画運営委員による審査の結果、口頭発表部門の最優秀賞、優秀賞が決定しました。

11月7日に日本下水道協会において表彰式を行い、下水道研究発表会企画運営委員会田中宏明委員長（京都大学大学院工学研究科教授）から講評をいただき、賞状と記念品が授与されました。受賞者は次のとおりです（敬称略）。

日本語口頭発表部門

【最優秀賞】

青木　恵里香　東京都
反応槽ＭＬＳＳ濃度の槽別管理による硝化安定化の検討

【優秀賞】（50音順）

鈴木　駿也　茨城大学大学院
流入下水の生物分解性有機物濃度の迅速推定に向けたORP・pH電極データの評価

高尾　大　月島機械株式会社
脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術実証研究（第３報）

瀧野　誉将　東京都下水道サービス株式会社
安全性向上、適用拡大に向けた異口径対応無翼扇型送風機（ＨＡＳＴ-ef）の開発

谷口　健司　金沢大学
予測誤差特性を活用したアンサンブル降水短時間予測情報構築手法の開発

英語口頭発表部門

【最優秀賞】（50音順）

鈴木　裕識　土木研究所
Fluorescent staining - observation method for detecting microplastic fibers in wastewater treatment plants

竹内　悠　横浜市
Evaluation of applicability of a reclaimed water system for industrial water reuse in Itoman City

（前列左側より）田中委員長、竹内氏、鈴木裕識氏、青木氏、岡久理事長

（後列左側より）瀧野氏、鈴木駿也氏、高尾氏